

山行報告書

日時	平成26年9月21日(日)～25日(木)		
山名	槍ヶ岳・北穂高岳縦走		
CL	高野	参加者	(単独)
HP記載の有無:	無		
(コース)	21日(日) バス博多21:45発⇒翌22日(月) 大阪6:50着 22日(月) バス大阪9:00発⇒新穂高温泉16:40着→歩行:穂高平小屋17:00着 テント(ツェルト)泊 歩行時間40分 23日(火) 穂高平小屋0:00発→白出沢1:30→滝谷3:00→槍平小屋・千丈分岐7:20→飛騨登越9:30→槍ヶ岳小屋9:55→槍ヶ岳小屋11:30→大喰岳山頂12:20→中岳山頂13:20→天狗原分岐14:30→南岳山頂15:00→南岳小屋15:30着 小屋素泊まり 歩行時間 15時間30分 24日(水) 南岳小屋6:20発→キレット最低鞍部7:30→A沢コル8:00→飛騨泣き8:35→北穂高小屋9:35→北穂高岳頂上9:55→瀬沢への分岐10:00→瀬沢ヒュッテ12:00→横尾・徳沢・明神→嘉門次小屋15:30着 小屋泊まり 歩行時間 9時間10分 25日(木) 嘉門次小屋8:00発→上高地バスターミナル9:00着:バス上高地バスターミナル14:20発⇒大阪20:40着:新幹線大阪21:22発⇒博多23:56着:翌0:10発⇒登大野城0:30着		
(コメント)	22日(月) 山行1日目 新穂高温泉到着後、登山指導センターへ登山届けを提出後、本日の宿泊場所である穂高平小屋に向けて出発、初めてのコースであるので多少不安もあったが、林道や脇道を通り17:00に到着、すぐにテント(ツェルト)を設営し夕食を準備、食事を終えて直ぐに就寝した。明日の山行の不安などもあり3時間程度の眠りで起きてしまい、その後寝付けず午前0時に出発と決めてツェルト等を片付けた。 今回の山行はテント泊、自炊と決めて望んだが、3泊4日行程での荷重は20kgになり、大キレット等の縦走には不安があったため軽量化を図った。軽量化といっても、テントをツェルトに変えただけで、あとは必要な品が多く最終的には18kgに落とす。		
	23日(火) 山行2日目 0時に出発し、白出沢の鉄製の架け橋を渡り、チビ谷を通過後滝谷に到着、木製の架け橋を渡り次の沢を渡ろうとしたが、深夜のため渡り口が判らず迷ったが、道しるべを見つけ槍平に向かった。 槍平を順調に通過し、いよいよ槍ヶ岳の登りが始まる。始めは順調に足を進めていたが、永遠と続く登りに体力を消耗し息も絶え絶えで、どうにか飛騨乗越に到着し少し休憩後、槍ヶ岳小屋に向けて歩を進めた。槍ヶ岳へのアタックは小屋に荷物をデポして開始、ゆっくり山頂に向けて三点確保を基本に歩を進め、最後の鉄梯子を登るとそこは憧れた槍ヶ岳の頂上、人は疎らでゆっくり山頂での360度の展望を楽しめた。9月最初の連休では登頂するのに4～5時間待ちの状態であったとこのことである。 当初計画では、槍ヶ岳小屋での泊まりであったが、時間的余裕があったこと、大キレットの望むにあたり体力の温存を考えて南岳小屋泊を選択し、南岳小屋に向けて槍ヶ岳小屋を出発した。 深夜からの山行で体力がかなり消耗していたため、大喰岳、中岳、南岳への登りはかなり苦労した。少し歩いては休憩を繰り返しながら南岳小屋への到着であった。南岳小屋では、ツェルト泊は止めて素泊として、自炊による食事とした。前日のツェルト泊は内部結露が激しく、シュラフ等が濡れてしまったため、素泊に切り替えることとした。また15時間を越える歩行時間だったため、体全体を覆っている疲労感を十分な睡眠で回復する目的もあった。南岳小屋のご主人から明日は午後から台風の影響が出てくるので、明日早々に下山を強く言われたため、天狗原分岐から下山とした。		
	24日(水) 山行3日目 南岳小屋で知り合った単独山行の京都のH氏と意気投合し、一緒に下山することとしていたが、午後からの天候悪化が15時以降となったことにより、そのまま大キレット、北穂高岳、瀬沢への山行に切り替えた。 6時20分に南岳小屋を出発、まずは南岳からの長い下りを慎重に行動し鞍部に到着、そこから大キレットへの挑戦となる。いざ大キレットに取り付くが、前日の山行の疲れが取れてなく登りでは苦労し休憩を多く取りながらの行程となった。 A沢のコル、飛騨泣きを経て北穂高小屋へは標準タイムで到達できたのは、同行者H氏の協力のおかげである。大キレットに関しては、一般的に言われている厳しさは感じられなく拍子抜けの感が拭えなかった。これは同行のしたH氏の同様の意見であった。 北穂高岳から瀬沢の下りは、疲れた脚にはきつく自然と遅くなってしまい下山に要した時間は標準を越える時間を要してしまった。瀬沢ヒュッテ周辺は紅葉が少し進んでいたが、最盛は来週からとおもわれるが、それでも下山途中の紅葉には心が癒される想いであった。瀬沢ヒュッテで昼食を取り、H氏は上高地、私は嘉門次小屋までということで、それぞれの目的地に向けて下山を開始した。時間的にタイトであったため、かなりハードペースで歩き、本谷橋、横尾、徳沢、そして明神でH氏とは別れ嘉門次小屋へ到着した。本谷橋から横尾までの間に雨が降り出し、横尾に着くころは本格的に降ってきた。 嘉門次小屋では、入山以来初めて入浴ができ心身共にリフレッシュをしたが、やはり身体の疲労はピークに達しており、身体の節々が痛み出し歩くのにも苦労した。1日目15時間、2日目9時間超と身体が悲鳴をあげているのだと感じた。		
	25日(木) 山行4日目 嘉門次小屋から上高地へは、自然道を通して1時間程度、雨の中を自然道を散策しながら上高地へ向かい、最終地点の上高地バスターミナルへ到着した。 4日間の山行を通して、天気にも恵まれた槍ヶ岳からの縦走はすばらしく、北穂高岳から先の縦走を次の目標とした。単独山行でのテント泊はどうしてもテント、食材等ザックが重くなり疲労が蓄積していくので、何らかの工夫が必要と思った。		
費用概算	交通費 博多⇒大阪6,100円 大阪⇒新穂高温泉4,700円 上高地⇒新大阪8,800円 新大阪⇒博多5,400円 合計25,000円		
(交通費)	宿泊費 テント料500円 南岳小屋素泊6,500円 嘉門次小屋8,000円 合計15,000円		
(その他)			